

平成28年度 学校法人平青学園 長野平青学園 学校自己評価及び学校関係者評価表

実施度:◎ 実施している。○ ほぼ実施している。△ 改善の必要がある。

項目	評価の観点	評価の項目	個別評価	実施度	自己評価委員会評価コメント	学校関係者評価委員会の提言	学校自己評価運営委員会改善向上策
I 教育理念 教育目標 人材育成像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目標、人材育成像等を明文化しているか。</li> <li>・上記において、職業教育機関として、専修教育に必要とされる考え方や指針、内容等が示されているか。</li> </ul>	1 教職員、学生等に対して教育理念等が明文化し、周知徹底を図っているか。	A	◎	毎年、学生の手引きに掲載をし、オリエンテーション等において説明を加えている。また、ホームページ等も更に充実させ、理解しやすい文言での表記を心掛ける。	さらなる周知徹底を図り、高校、関係企業・医療機関、社会に対して、様々な手段をもって、学校情報を発信するべきである。	学校関係者評価委員会の提言をもとに、学校情報の発信方法にSNSを加え、より多くの方々にわかりやすい画像を主とした表現での発信を加えたほか、メディアに向けての情報発信にも心がける。
		2 学校外に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	A				
		3 社会、学習者のニーズに応えるため、定期的な点検、見直しを行っているか。	A				
II 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針が策定されているか。</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。</li> <li>・事業計画に沿った運営方針が策定されているか。</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、有効に機能しているか。</li> <li>・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。</li> </ul>	1 理事会、評議員会が定期的に開催されているか。	A	◎	必要な会議は定期的に開催されている。学則・諸規定は毎年点検し、より適切な見直しを行っている。学校安全マニュアルを作成し、教職員および学生・保護者の共有化を図り、学校における学生の安全に最大限心掛ける。	必要な会議が開催されているだけでなく、より具体的な運営・カリキュラム・様々な施策等、学校運営の具体的な改善策に結び付けるべきである。	報告・連絡主体の会議だけでなく、様々な意見、具体策を得られる会議運営を心がけると同時に、意見・提言を具体策に結び付ける。
		2 運営会議(教務会等)が定期的開催されているか。	A				
		3 学校評議員会を定期的に実施しているか。	A				
		4 学則、諸規定が整備され、点検・見直しが行われているか。	A				
		5 学校安全保健計画が作成されているか。	A				
III 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。</li> <li>・教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。</li> <li>・学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。</li> <li>・授業評価の実施・評価体制は整備されているか。</li> <li>・職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。</li> <li>・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。</li> <li>・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。</li> <li>・関連分野における業界との連携において優れた教員を確保しているか。</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成などの資質向上の取組みが行われているか。</li> </ul>	1 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	A	◎	カリキュラム編成については、毎年、次年度および次々年度に向けてのカリキュラム編成会議が開催され、教育課程編成委員会における関連企業や医療機関からの意見・要望や、学生アンケートの結果等が反映された検討がなされている。専門性の高い授業以外にも、コミュニケーション能力育成授業や、就職支援授業、基礎学力授業など、社会人としての基本的な素養を育成する授業を全学科で取り入れている。	特になし	社会、企業、医療施設からの意見、学生からの要望など、生の声を傾聴し、学生が就職し、社会人として、真に必要とする能力育成ができるカリキュラム編成に、今後も注力する。
		2 カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。	A				
		3 カリキュラム作成メンバーの中に、業界関係者・高校関係者などの外部関係者を入れ、その意見を取り入れているか。	A				
		4 シラバスあるいは講義要項が作成され、事前に学生に提示されているか。	A				
		5 学生によるアンケート授業評価が定期的に行われているか。	A				
		6 その結果に基づき、教員面接・授業参観・研修を実施しているか。	A				
		7 企業・施設等での職場実習・企業実習を実施しているか。	A				
		8 キャリア教育の充実に向けたカリキュラムが設定されているか。	A				
		9 コミュニケーション能力の向上に向けたカリキュラムが設定されているか。	A				
		10 成績評価・単位認定基準が明文化され、学生に周知徹底が図られているか。	A				
		11 企業・地域・行政との連携を図っているか。(産学連携等)	A				
		12 専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修を行っているか。	A				
		13 専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修への派遣、自己啓発への時間的・財政的な支援を行っているか。	A				

項目	評価の観点	評価の項目	個別評価	実施度	自己評価委員会評価コメント	学校関係者評価委員会の提言	学校自己評価運営委員会改善向上策
IV 学修の成果 教育効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか。</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか。</li> <li>・退学率の低減が図られているか。</li> <li>・卒業生、在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。</li> </ul>	1 学生の就職に関する目標を設定し、その目標が教職員に共有されているか。	A	◎	<p>就職率について達成月の期間目標を定めているほか、その目標達成のために、毎週の教務会で進捗状況を把握し、課題がある時は、必要な施策が図られている。今年度は、就職環境の好転により、その成果が顕著に表れており、次年度以降も継続を図っていく。資格・コンペに関しては年度当初に授業計画で目標を明示し、学生のモチベーション維持に心掛けている。コンペ・コンテストへの参加については、報道に値するような成果を得ていない事が課題である。</p>	<p>専門学校の評価は就職状況にあることを前提に、就職環境が悪化することも考慮に入れ、就職成果が得られる環境維持に努めてほしい。</p>	<p>学生の就職、検定・資格取得への動機づけ、モチベーション維持のための担任の指導力を高める。</p>
		2 学生の就職結果に関して検証、報告を行ったか。	A				
		3 外部に向け就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	A				
		4 資格・検定・コンペに関する目標を設定し、目標・計画が教職員に共有されているか。	B				
		5 資格・検定・コンペの結果を公表しているか。	A				
		6 卒業率の目標を設定し、その目標が教職員に共有されているか。	A				
V 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか。</li> <li>・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか。</li> <li>・保護者と適切に連携しているか。</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか。</li> <li>・関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか。</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。</li> <li>・高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか。</li> </ul>	1 担任、担当者による進路・就職相談を実施しているか。	A	○	<p>キャリアカウンセラー資格取得者2名、キャリアサポーター資格取得者2名。教員の約4分の1がキャリアに関しての理解を持ち、個々の学生の相談にあたっている。また、キャリアに関する学内研修を開き、他の職員にも共通の理解を求めている。近年問題を抱える学生が増加しており、メンタルヘルスでは専門家を含めた対応・出身高校との連携を図っているが、メンタルな面については、繊細かつ専門的な対応を求められる場面も多く、個々の事案について、十分な対応ができない場面もある。専任の就職先開拓担当者があり、就職先企業の開拓と、卒業生の状況を把握しているが、退学者に関しての状況が一部把握できていない部分がある。</p>	<p>就職環境は好転をしているが、相変わらず新卒就職者の早期離職率は30%を超えている。今後も学生と就職先のマッチングに心がけ、少なくとも3年を超える職業経験をすることによる専門能力を得てからの転職が可能なサポートをして欲しい。メンタルヘルスの健全化は社会的な課題であるが、専門学校を含めた高等教育機関における対応は重要である。是非とも具体的な対応が望まれる。</p>	<p>メンタルヘルスの専門家の常駐は難しいが、外部の専門家や医療機関との連携など、在校生のメンタルヘルス環境の改善に努める。</p>
		2 学生指導に関する教職員の相談に応じる体制が取られているか。	B				
		3 学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	B				
		4 定期的に健康診断を実施しているか。	A				
		5 奨学金制度等の経済的支援制度があるか。	A				
		6 保護者会、保護者懇談会等を定期的に開催し、保護者との連携を取っているか。	A				
		7 求人開拓のための活動を行っているか。	A				
		8 卒業生の就職先への訪問を実施し、サポート体制を取っているか。	A				
		9 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育を実施しているか。	B				
VI 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか。</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか。</li> </ul>	1 普通教室、実習室等施設・設備が整備されているか。	A	◎	<p>必要な施設・設備が設置されているが、更に学生アンケートの要望を精査し、環境整備を進めていく。</p>	<p>特になし</p>	<p>今後も、社会的な変化等にも配慮した教育環境整備にあたる。</p>
		2 施設・設備の保守管理が定期的に行われているか。	A				
		3 学内の整理、整頓、清掃に関して定期的に管理・チェックされているか。	A				
		4 図書室、図書コーナー等が設置され、適切に運用されているか。	A				
		5 年間スケジュールが作成され、学生に提示され周知されているか。	A				
		6 防災・防犯・非常時の対応マニュアルが作成され、徹底を図っているか。	A				
		7 危機管理マニュアルが作成され、徹底を図っているか。	A				

項目	評価の観点	評価の項目	個別評価	実施度	自己評価委員会評価コメント	学校関係者評価委員会の提言	学校自己評価運営委員会改善向上策
VII 学生募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組を行っているか。</li> <li>学生募集活動は、適正に行われているか。</li> <li>学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。</li> <li>学生納付金は妥当なものとなっているか。</li> </ul>	1 学校案内等には育成人材像が明示されているか。	A	◎	学校案内は毎年内容について見直しが行われ、志望学生のみならず、関係企業等にとって有効な情報を網羅している。高校生の減少にともない、社会人の再学習にも目を向ける必要がある。(H29年度4名の社会人が入学予定。)		学園の情報発信力の向上策として、様々な媒体を活用した情報発信に努める。
		2 学校案内等には資格取得・就職状況が正確に記載されているか。	A				
		3 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	A				
		4 学校案内等には選抜方法が明示されているか。	A				
VIII 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。</li> <li>予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。</li> <li>財務について会計監査が適正に行われているか。</li> <li>財務情報公開の体制整備はできているか。</li> </ul>	1 年度予算、中期計画が策定されているか。	A	◎	財務については、専任の担当者がおり、また、専門家によるチェックも随時行われており、適正かつ正確に処理されている。	適正に会計処理・財務管理が行われている。	今後も適正かつ健全な財務管理を行う。
		2 予算の執行状況を定期的に確認しているか。	A				
		3 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	A				
		4 会計監査(月次決算書等)の結果が文書等で明確化されているか。	A				
		5 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	A				
IX 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。</li> <li>個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。</li> <li>自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。</li> <li>自己評価結果を公開しているか。</li> </ul>	1 個人情報保護規程・ハラスメント規程が整備され、学生・保護者・教職員に周知されているか。	A	◎	組織内のチェック体制は整備されているが、更に専門家等の助言・研修を行ってきたい。政府の方針である「働き方改革」に合わせた、教職員の就業環境整備に取り組む必要がある。	特になし	専門家の助言を受けた就業規則の見直しを図る。
		2 組織内の体制整備・点検が行われているか。	A				
		3 自己評価結果の問題点の改善する取組がなされているか。	A				
		4 自己評価結果を公表しているか。	A				
X 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。</li> <li>学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。</li> <li>地域に対する公開講座、教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか。</li> </ul>	1 社会貢献・地域貢献を目的とした公開講座を開設しているか。	B	○	公開講座は学園内に規定はされているが、広報等が不十分であり受講者はいない。高校、各種団体等において当学園講師による出張講義が行われている。特にキャリアデザイン・コミュニケーション等の講座要望が多いので今後も進めていく。教育訓練は毎年1ないし2講座受託をしている。	教育資源の有効活用については、難しい課題もあるが、地域の学園理解にも有効である。今後も地域に対しての様々な活動を積極的に行うべきである。	H29年度は出張講座の依頼があった。地域への教育資源活用についてさらに積極的に進めたい。
		2 教育資源(施設・設備)の開放、教職員の出張講座等を地域に提供しているか。	A				
		3 学生の社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	A				
		4 教育訓練の受託を行っているか。	A				
XI 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学生の受け入れを行い、国際交流を行っているか。</li> <li>受け入れ等について適切な手続き等がなされているか。</li> <li>学修成果が国内外で評価される取組を行っているか。</li> <li>学内での適切な体制が整備されているか。</li> </ul>	1 留学生受け入れのための体制が整備され、適切に手続きがなされているか。	A	◎	日本語科に現在約70名、その他の学科に20名前後の留学生を受け入れている。学生間の交流を図るとともに、専任の生活指導員による相談・指導・管理が適切にされている。また、台湾からの高校生・インドネシアからの大学生を受け入れ国際交流を行った。今後も積極的に受け入れていきたい。	国内の慢性的な働き手不足は切実な社会問題となっている。また、インバウンド観光の増加などの社会のグローバル化も大きな流れである。そのような社会変化への対応策として留学生受け入れ、よき働き手として送り出すことはこれからの高等教育機関の大きな課題となる。特によき社会人としての育成に力を入れて欲しい。	留学生にとっての最初のハードルとなる「日本語」、そして次のハードルである「専門教育」。この二つを一貫した教育システムの中で行えるのは当学園の強みである。今後も良き日本の理解者育成としての留学生教育に力を入れていく。
		2 留学生数、在籍管理状況を的確に把握しているか。	A				
		3 留学生への相談体制等が整備されているか。	A				